

感染症に関する医療事情講演会(質疑応答)

2020/02/27(木)17:00-18:30

@モントリオール総領事館 会議室

講演者:在カナダ日本国大使館 藤川医務官

演題:「感染症の予防～新型コロナウイルス(COVID-19), インフルエンザ～」

Q1. コロナウイルスの死亡率は高いのか？

A1. 比較対象による。日本でのインフルエンザ死亡率が約 0.1%であり、これに比べると新型コロナウイルスの死亡率は格段に高い。しかし過去に流行した SARS(死亡率約 10%)や MARS(死亡率約 35%)と比較すると、今回の新型コロナウイルスの死亡率は高いとは言えない。

Q2. 接触感染は紙などを媒介として起こることもあるのか？

A2. ウイルスが衣服や紙等に付着した場合の生存時間は 6-12 時間と言われている。金属やプラスチックの場合 はもっと長いので、その間にウイルスに触れ、その手で粘膜をさわるといった場合には感染の可能性はある。

Q3. 気温が上昇すれば新型コロナウイルスの感染拡大は収縮するか？

A3. 一般的に、暖かくなると風邪は終息する。しかし、新型コロナウイルスが季節性かどうかを判断するには時期尚早である。

Q4. 土地や気候によってインフルエンザの流行に差異はあるか？

A4. 気候よりも人口密集度の違いで流行に差がある。人口密集度が高いほどインフルエンザが流行する傾向。

Q5. 日本ではマスクをつけている人が多いが、マスクの感染予防効果は全くないということか？

A5. マスクは花粉症予防や保湿の面で効果的だが、コロナウイルスの感染予防という点では効果は薄い。そのため健康な場合にはマスクを使用する必要はない。しかし、体調が悪い(症状のある)場合には、他人への感染を拡大しないために使用すべき。適切な人が適切な使用を心がけてほしい。

Q6. コロナウイルスの影響で、日本からの留学生のホームステイ受け入れ拒否が増加している。留学生がコロナウイルスに感染してしまった場合の対応はどうすれば良いか？またどこに相談すれば良いか？

A6. 陽性だった場合は、各州のプロトコルに沿った対応になる。原則としては 811 に電話し初期対応の判断をあおいでほしい。重篤な場合には指定病院での隔離入院になるのではないかと。現時点ではケースがないので詳細な対応は言えない。

Q7. 多くの日本人旅行者が渡航予定なのだが、もし感染者がいた場合、飛行機やバスなどの移動時に感染が拡大する可能性もある。そのような場合、日本人への差別や日本企業や飲食店への風評被害も出てくることを危惧している。

現時点での総領事館の体制や連絡ネットワークや、事前の対策などでできることがあれば教えてほしい。

A7. 現時点では、カナダへの渡航規制の対象は武漢市やイラン。日本での流行によって、日本人旅行者の渡航についてのカナダの将来的な対応は断言できない。日本人旅行者に発症者がいた場合は、カナダ政府の方針に従うほかない。また、旅行者に「たびレジ」に登録してもらえれば、総領事館からの注意喚起等の情報が入手できる。カナダ政府 HP の渡航情報ページで、日本についての健康情報が随時更新されているので参考にしてほしい。もし邦人感染者が確認された場合には、総領事館からメールなどで知らせる。

Q8. 811 への電話はハードルが高いのだが、現地クリニックでの相談はしてもよいか？

A8. かかりつけ医がいる場合にはクリニックでの相談は良いと思う。それ以外の場合には、811 に連絡した方がよい。混乱を招く可能性があるので、重篤でない限り、むやみなクリニックへの受診は避けてほしい。

Q9. カナダ政府が将来的に日本からの渡航規制を行うことはあるか？

Q9. カナダ政府の対応について、現段階で予測することは難しい。総領事館はカナダ連邦政府・各省庁と頻繁に情報交換をしており、日本との連絡ネットワークも確立されている。もし渡航規制が行われる場合には、総領事館からメール等ですぐに連絡をする。

Q10. 補習校には水道が少なく生徒の頻繁な手洗いが難しいのだが、手指消毒液の使用は感染予防に効果的か？

A10. アルコール手指消毒液は、コロナウイルスの死滅が確認されている 70%以上のものを使用してほしい。殺菌効果が薄れないよう、消毒液が乾かないうちに手指に塗り広げるように生徒に指導を。

Q11. 春季休暇後に日本からカナダに帰ってきた生徒への対応はどうすれば良いか？登校は自粛させるべきか？

A11. 現時点では、日本から帰国した生徒の登校自粛については言及できない。これから数週間の日本の感染拡大予防の対応にもよるが、中国のように大規模な感染拡大が将来的に起こらないとは言えないので注視が必要。